

第7章 持続可能な地域公共交通網の形成に資する

地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

目標

【公共交通ネットワーク】の視点

利便性の高い公共交通網
の整備

【持続可能】の視点

地域公共交通網が継続し
て利用される

目標を実現するための基本的な方針
を右記のとおり設定します

基本的な方針

〔にいがた都市交通戦略プランの基本方針
多核連携型のまちづくりを支える交通戦略〕

都心アクセスに資する公共交通を
維持・拡充します
(都心アクセスの強化)

〔にいがた都市交通戦略プランの基本方針
都市の活力と拠点性を強化する交通戦略〕

駅・港・空港など広域交通拠点と都
市交通の連携を図ります
(広域交通との連携強化)

〔にいがた都市交通戦略プランの基本方針
まちなかの賑わいを創出する交通戦略〕

基幹公共交通軸を段階的に整備し
まちなかの回遊性を強化します
(都心部での移動円滑化)

〔にいがた都市交通戦略プランの基本方針
暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略〕

多様なライフステージの移動ニー
ズに応じた区バス・住民バスを確保
します (生活交通の確保維持・強化)

〔にいがた都市交通戦略プランの基本方針
みんなで築き上げる交通戦略〕

公共交通の利便性を向上させ自家
用車からの転換を促進します
(市民や関係者による協働)

基本的な方針：都心アクセスに資する公共交通を

維持・拡充します（都心アクセスの強化）

○都心方面を結ぶ公共交通の運行本数、所要時間、終発時刻などのサービスをより強化し、過度な財政負担なくそのサービスを維持するための利用促進を図る。

○都心方面を結ぶ幹線的な交通としての鉄道・バス及び、それにアクセスする交通としてバス・タクシーを中心に自転車・自家用車等を含めた役割分担を定めることにより、公共交通の輸送効率向上及び運行頻度増加を検討するとともに、各交通手段間の結節強化を図る。



都市内交通体系の基本概念図



JR 巻駅パークアンドライド社会実験の様子



JR 新津駅パークアンドライド社会実験の様子

基本的な方針：基幹公共交通軸を段階的に整備し

まちなかの回遊性を強化します（都心部での移動円滑化）

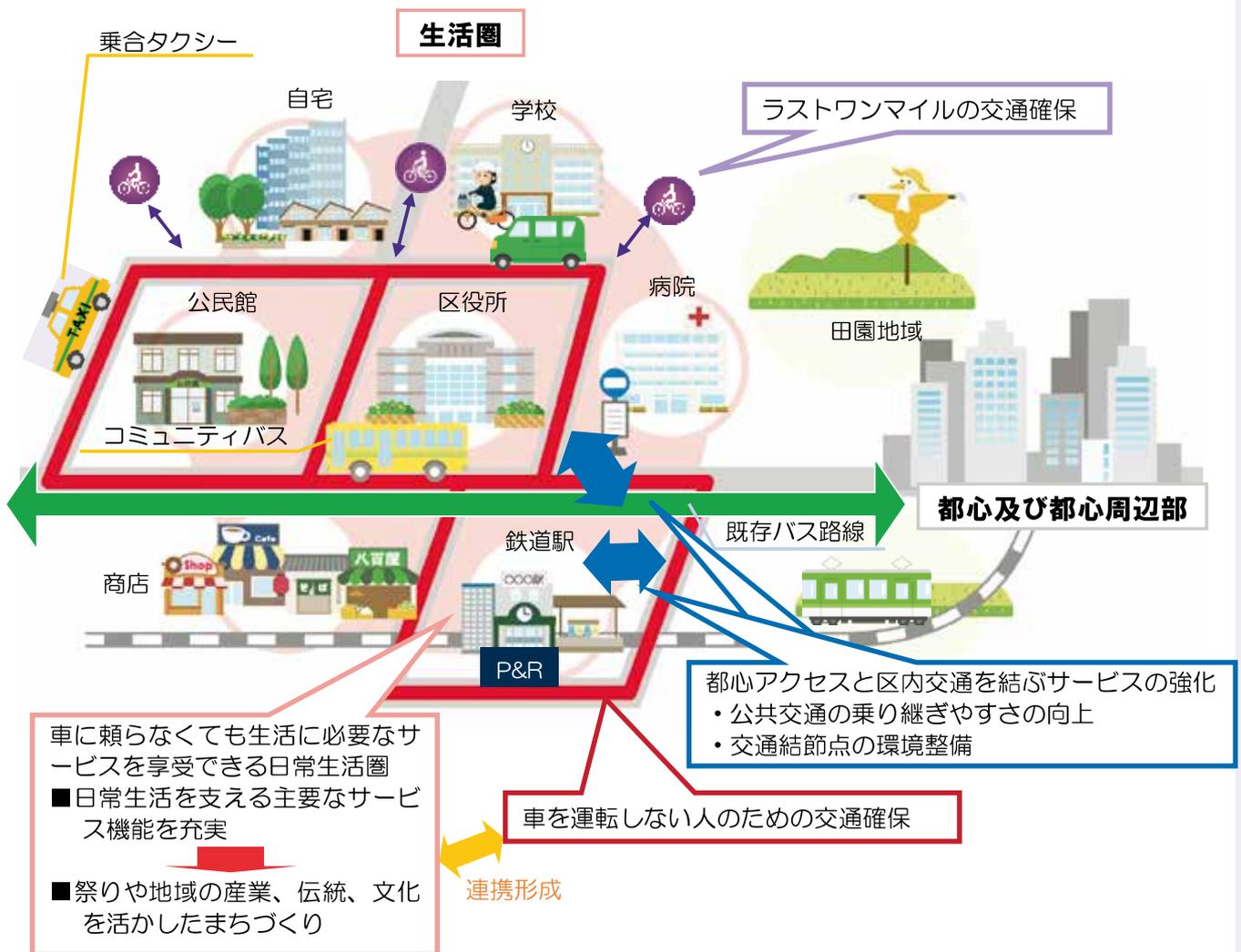
- 新潟駅周辺整備事業により、駅南北間を結ぶ道路整備やバスの運行により、古町、万代地区と鳥屋野南部開発地区など新潟駅南北間の回遊性を向上する。
- まちなかにおいて、鉄道やバス、タクシー、自転車、徒歩等の結節を強化するとともに、多様な手段を選択できる空間を整備する。



基幹公共交通軸沿線への機能集積のイメージ

基本的な方針：多様なライフステージの移動ニーズに応じた 区バス・住民バスを確保します（生活交通の確保維持・強化）

- 生活交通は区内の生活拠点内や拠点間を結ぶなど、地域のまちづくりと連携して確保維持・強化する。
- 地域の移動ニーズや需要に応じて、乗合タクシーや自家用車等も含めた適切な交通手段を活用する。
- 超高齢社会が進展するなか、各々のニーズや需要に対応するため、事例等を踏まえつつ検討する。
- 地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するため、自治会等の地域主導による計画づくりや運営を推進する。

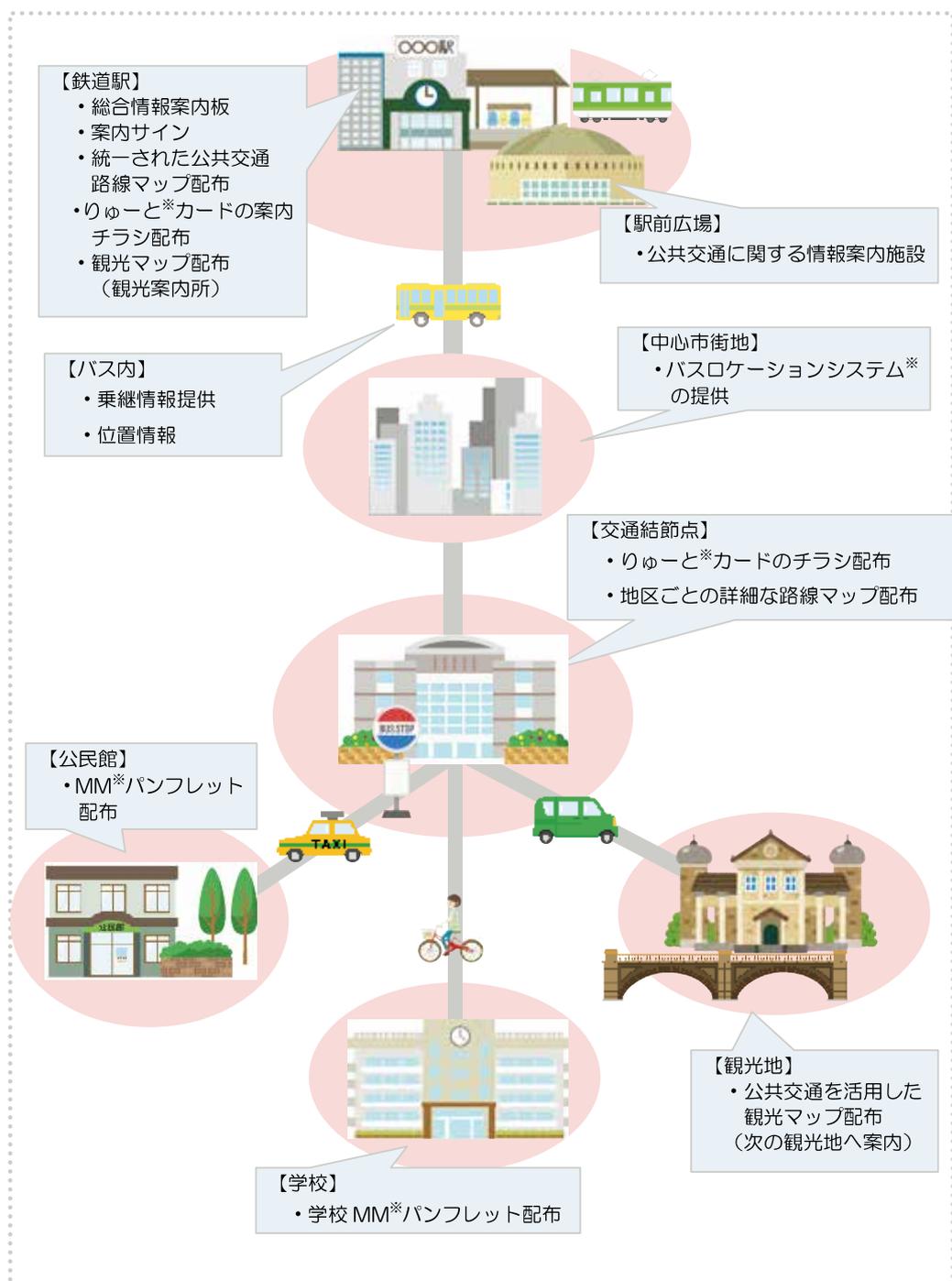


地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成イメージ

基本的な方針：公共交通の利便性を向上し

自家用車からの転換を促進します（市民や関係者による協働）

- 公共交通の利用促進に向け、サービス等に関する情報提供や意識啓発を強化する。
- ICT 技術等を活用した情報提供の充実を図る。
- バリアフリー化や多言語案内などのユニバーサルデザインを推進する。
- 効率的に交通課題を解決するため、民間活力の導入を促進する。
- 新技術等の導入に向けた社会実験を誘致・支援する。



各施設に適した情報提供イメージ